

令和5年度 小学校教科担任制推進

北広島町立壬生小学校

令和5年度 小学校教科担任制推進 取組事例



北広島町立壬生小学校



はじめに

1. 教科担任制加配の指導体制

2. 授業の質の向上

3. 多面的な児童理解

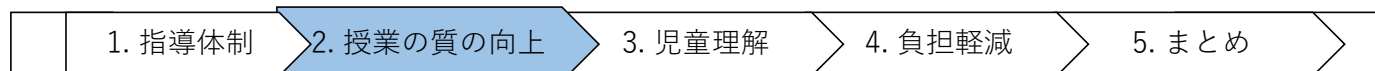
4. 学級担任の負担軽減

5. まとめ

教科担任制加配の指導体制

学年	4年生	5年生		6年生		計
教科等	理科	理科	社会	理科	社会	
壬生小学校	3	3	0	3	3	12
八重東小学校	0	3	3	3	3	12
計	3	6	3	6	6	24

- 町内2校を兼務している。
- 日課の中に教材研究の時間を確保し、授業の質の向上を図った。
- 校務支援PC、学校間の共有フォルダを活用。
- 教材教具を2校間で兼用することで、不足している教具等を補っている。

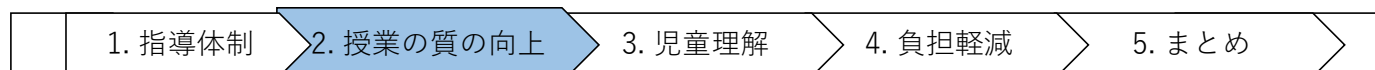
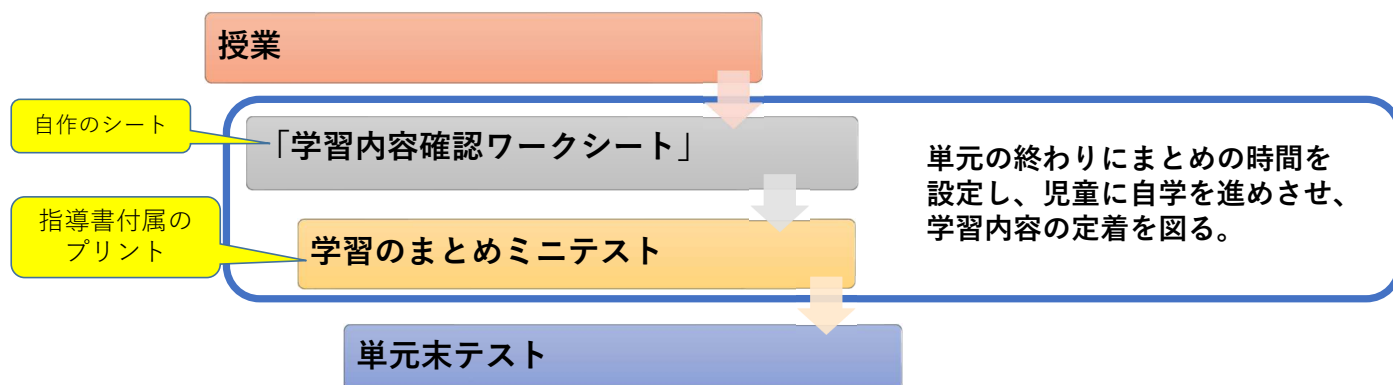


授業の質の向上をめざして

単元構成の工夫

【実践例】6年生 社会科

- ・ 中学校生活を見据え、児童の主体的な学習につながるよう意識して単元を進めた。
- ・ 単元末テストに向けた学習を、児童が計画的に行えるよう、単元構成を工夫した。



授業の質の向上をめざして

社会科 歴史分野では、単元ごとに教科担任が「学習内容確認ワークシート」を作成し、児童に既習事項の確認や復習を行わせる活動を展開することで、学習内容の定着を図った。

不明な点は教科書や資料に立ち返って確認し、「なんとなく」を「なんとなくで終わらせない」

「学習内容確認ワークシート」の例

社会ワークシート(明治時代)

年 名前

- ペリー来航
 - ・ペリーは、どこの国の人ですか。()
 - ・ペリーが求めたことは何ですか。()
 - ・貿易が始まると日本国内の物価はどうなりましたか。()
 - ・貿易に反対した()藩と()藩は、()と戦って力の差を実感した。だから、新しい政府を作って(外国)と対抗できる強い()をめざそうとした。
- 明治時代の人物
 - ・富国強兵()
 - ・初代の総理大臣()
 - ・自由民権運動()【世の中を変えたいと願う人たちがいた。】
- 明治時代の出来事
 - ・五箇条の()が、明治天皇の名で定められた。
 - ・国会は()と()からなり、()だけが選挙で選ばれた。
 - ・大日本帝国憲法は、国を治める権限は()にあると定められた。
 - ・「学問のすゝめ」には()ということが書かれている。
 - ・明治時代にできたものは()と()である。
 - ・()があるのは、ごく一部の人だけだった。
 - 【国民全体の1.1% 一定の税金を納めた25歳以上の男性】
- 明治政府の改革
 - ・廃藩置県【()を廃止して()にし、政府の役人を配置した。】
 - ・富国強兵【()を盛んにして、強い()をめざした。】
 - ・地租改正【税金を()で納めさせた。】
 - ・徴兵令【()以上の()に3年の入隊の義務】
 - ・殖産興業【外国の技師を招いて、機械による()をめざした。】
 - ・明治政府は、()に追い付くための国づくりをしようとした。
- 政府の改革に不満をもつ人々
 - ・西南戦争【()を中心にして士族たちが反乱を起こす。】
 - ・自由民権運動【国民の意見を政治に取り入れるため()を求めた。】

1. 指導体制

2. 授業の質の向上

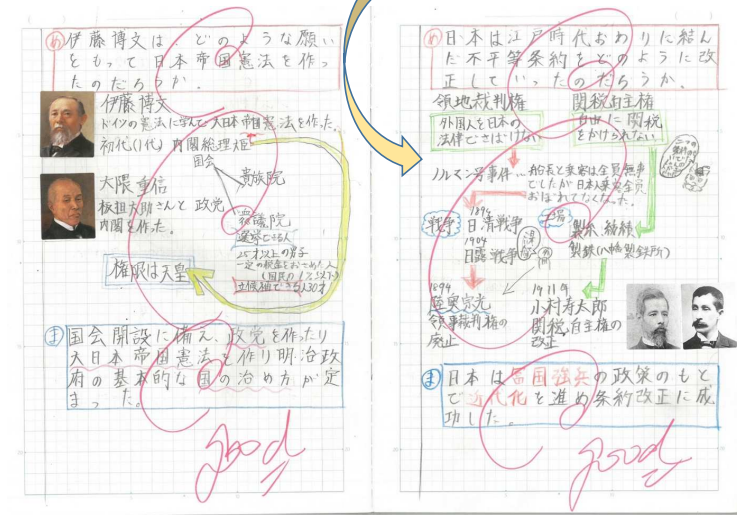
3. 児童理解

4. 負担軽減

5. まとめ

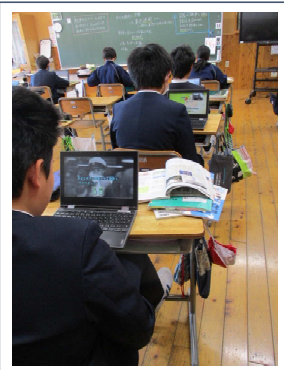
授業の質の向上をめざして

児童のノートより



出来事だけでなく、背景についてもノートに整理していく

自力解決の場面では教科書、資料集、そしてICTも活用している。



授業の様子

1. 指導体制

2. 授業の質の向上

3. 児童理解

4. 負担軽減

5. まとめ

授業の質の向上をめざして

○児童の教科担任制授業に対する関心意欲アンケート結果には、以下のような記述があった。

- ・専門的に教えてもらえて分かりやすい。
- ・これまで以上に、詳しく教えてもらえる。
- ・教科によって先生が代わることで、頭の切り替えができる。
- ・自学自習の習慣づけのきっかけとなった。

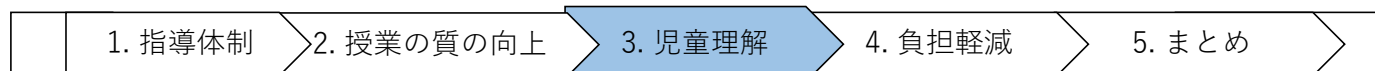


・教科によって先生が変わることに慣れるのに時間がかかった。

成果

6年生については、児童が慣れ親しんだ環境において教科担任制を体験することで、中学校入学前に中学校生活を見据えた経験を行えたことは、中学校生活への円滑な移行を進めていく上で効果があったといえる。

また、学習に対して「単元を意識した主体的な学び・自学自習の習慣づくり」にもつながっている。



多面的な児童理解

年度当初は、教科担任の勤務日外の曜日に生徒指導暮会を設定



情報共有の時間確保のため変更

生徒指導暮会において、全教職員で児童の様子について交流。

全教職員共通理解のもとに指導を行う。

変更前

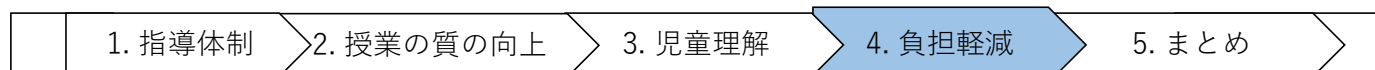
	月	火	水	木	金
教科担任勤務校	壬生小	八重東小	八重東小 ↓ 壬生小	壬生小	八重東小
壬生小放課後16:00～	各種委員会	職員暮会	研修日	分掌部会	生徒指導暮会

変更後

	月	火	水	木	金
教科担任勤務校	壬生小	八重東小	八重東小 ↓ 壬生小	壬生小	八重東小
壬生小放課後16:00～	各種委員会	職員暮会	研修日	生徒指導暮会	分掌部会

成果

教員間で児童の頑張りを共有することで、児童の自己有用感、肯定感を育成するきっかけが増えると共に、生徒指導の面においても、効果的な声掛けにつなげることができた。



学級担任の負担軽減のために

「児童と向き合う時間が確保されている」と感じる教員の割合 ➡ 100%

○学級担任の担当授業数を軽減することにより



成果

- ・ 授業準備や教材研究を行うことができた。
- ・ 宿題等の提出物を当日に確認し返却することができた。
- ・ 個別指導にかかる時間を充実させることができた。

1. 指導体制

2. 授業の質の向上

3. 児童理解

4. 負担軽減

5. まとめ

○成果(学習面)

- ・ 教科担任制を進める中で、児童は「これまで以上に、専門的に詳しく教えてもらえる」という意識をもち、児童の学習に対する関心・意欲が高まっている。
- ・ 学年間において系統的な学習や教材研究を行うことで、授業の質が向上するとともに、基礎学力が向上している。

第6学年

社会テスト平均値 1学期 79.6点 → 2学期 80.2点
理科テスト平均値 1学期 72.9点 → 2学期 76.7点

- ・ 単元のまとまりを意識した自学自習の習慣が、児童に身に付きはじめている。
- ・ 教科によって先生が代わることで、児童にとって学習の切り替えの良いタイミングとなっている。

1. 指導体制

2. 授業の質の向上

3. 児童理解

4. 負担軽減

5. まとめ

○成果(生活面)

- ・ 中学校生活への円滑な移行を進めていく上で、児童が進学への見通しをもつことができる。
- ・ 授業準備や教材研究、個別に指導する時間が充実し、教員が児童と向き合う時間が確保されていると感じている。
- ・ 生徒指導暮会等において、児童理解を深める時間を確保することにより、教科担任のみならず、全教職員が共通理解のもと、指導を行うことができた。

1. 指導体制

2. 授業の質の向上

3. 児童理解

4. 負担軽減

5. まとめ

○課題

＜町内2校を兼務する良さ＞

児童の様々な実態や考えに触れることができ、
指導力向上・授業改善に大いに役立つ。

しかし

児童の実態把握の面において、より綿密な連携を行う
ことが必要であり、連携時間の確保が難しい。

個に応じた指導を進めていくためにも、
連携方法等、引き続き工夫していく必要がある

令和5年度 小学校教科担任制推進



北広島町立壬生小学校

